ノヤマ通信

vol.37（2025.長月）

森のようちえんヒュッテ

【7月の活動記録：3日三滝渓谷、10日山の基地、14日桂川渓谷（雨天中止）、17日山の基地】

●活動を見つめるコラム

「“体験格差”についてどう考えますか？」

先日、愛媛県主催のイベントで、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン代表理事 今井悠介さんの講演を聞いてきました。今井さんは、保護者の所得や家庭環境によって＜子どもの学校外の体験＞に大きな差が生じていることを“**体験格差**”と呼び、社会課題として問題提起しています。

今井さんは、「体験」という言葉の明確な定義は難しいとしつつ、「主に子どもたちが放課後に通う習い事やクラブ活動、週末・長期休みに参加するキャンプや旅行、お祭りなど地域での様々な行事、スポーツ観戦や芸術鑑賞、博物館や動物園といった社会教育施設でのアクティビティなど」を『体験』」として、実態調査を行いました（※友人や兄弟との遊びやお手伝いといった日常的な活動は対象外）。そして調査の結果見えてきた「格差」をうめるため、同団体では寄付をもとに「体験奨学金」制度を設け、支援が必要な家庭にクーポンを提供して、地域の道場や音楽教室などに通える仕組みを広げています。

一方で、この“体験格差”という考え方に批判的な意見もあります。教育ジャーナリストのおおたとしまささんは、「家庭によって体験に差があるのは自然なことで、“格差”と呼ぶのは誤解を招く。お金をかけない体験の価値も見失ってはならない」と警鐘を鳴らしています。

両者に共通するのは「体験は子どもの成長に不可欠で、親の経済状況や時間的制約が体験機会に影響している」という点です。ただし、おおたさんは、この“体験格差”という言葉が広まることで、「お金をかけた体験をさせなければ子どもが不利になる」といった意識を生み、結果的に競争社会を加速させる危険性を指摘しています。

皆さんはどう考えますか🤔？（ゆ）

▲7/17森のようちえんヒュッテ（山の基地：そうめん流し）

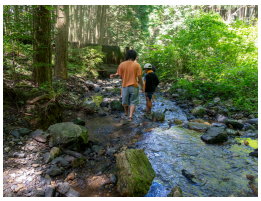
山の基地

【7・8月の活動記録：7/2、5、23、8/6、18…日常管理、7/20、31、8/11…開放日（8/11は雨天中止）、7/28…視察対応】

●草の成長がすごい時期なので、何度か草刈りに入りました。
今年は、樹液が出ているクヌギの木でカブトムシやクワガタムシなどを見かけることが多かったです👀。

●開放日は川遊び、虫とりなど、夏らしい過ごし方をして遊びました。複数のご家族がスイカを持ってきてくださったので、スイカ割りも楽しめました（結局、スイカの数が多すぎてあまりましたが🤣）
8月の開放日が雨で流れてしまったのが残念でした。

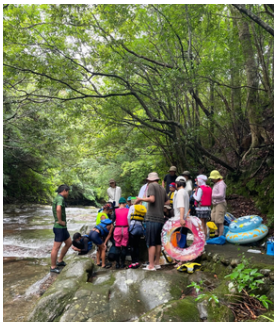
●7/28は、西予市オルタナティブスクールのみなさんが遊びに来てくれました。公立の学校とは異なる学びの場を模索している団体です。今後も、お互いの特徴を生かして何か連携できればと思っています。



その他の活動

●講師対応

〇横吹渓谷 生きもの観察会・水遊び（7/26）



なんよTACさんの主催でイベントが企画され、今年もスタッフとして参加させていただきました！

開始早々、雨が降り出し、十分に川遊びを楽しむことはできませんでしたが、これを機に横吹渓谷を訪れる人が増えたらいいなと思います🙂。

〇高川婦人会ビオトープ観察会（7/27）

西予市城川町の高川地区で、今年もビオトープ観察会のお手伝いをしてきました。継続的な草刈りのおかげで、去年よりもゲンゴロウの仲間やヤゴ、ドジョウやイモリの子どもなどがたくさん採れました。

〇三瓶アドベン・ジオ学習会（7/30）

三瓶地区の地域づくり活動センターが合同で開催するイベントで、ジオパークのお話と海の生きもの観察の指導を依頼されました。

ところが当日、カムチャッカ半島付近で地震が発生し、津波注意報が発令😰。海あそびは中止となり、室内でのお話だけとなりました。

ジオパークには、大地の美しさやすばらしさと同時に、自然の脅威についても伝え、人と自然がいかに共生していくかを考えてもらう役割があります。今回はまさにそのことを実感する機会となり、参加者にとっても印象深い学びの場になったように思います。

●だいちのめ｜企画展を実施（7/23～8/18）

四国西予ジオミュージアムで、「ネイチャージャーナリング」をテーマとした企画展を開催しました。

ネイチャージャーナリングは、日々の気づきを絵・言葉・数字でノートに記録する活動です。じっくり自然を観察しながら、「気づいたこと」「不思議に思ったこと」「連想したこと」などを自分に問いかけ、それを記録していくことで、自然はもちろん、自分自身のことも深く知ることができます。展示を通して、そんな体験をぜひ味わってもらえたら！ということで企画展を実施しました。

展示期間中には、ネイチャージャーナリングのやり方を教えてもらう講座や、石やウニのとげといった天然素材を使って、絵の具づくりを体験してもらうイベントを開催しました。ご家族はもちろん、大人だけで参加してくださった方も多く、幅広い世代の方に楽しんでいただけてうれしかったです。展示の企画には初チャレンジでしたが、またこのような機会が持てればいいなと思います。

●日本ESD学会で発表（8/23）

松山市で開催された 日本ESD学会 第8回大会 に参加してきました。「ESD」とは、Education for Sustainable Development の略で、持続可能な社会を実現するための教育を意味します。

今回は、私たちが取り組んでいる 自主保育・森のようちえんヒュッテ をESDの観点から捉え、その可能性について課題研究の分科会で発表しました。

地域の豊かな自然や文化にふれながら、のびのびと遊ぶ子どもたちの姿を見ていると、「持続可能な社会って抽象的だけれど、結局はこうした光景を未来に残していくための努力や運動の先にあるんだろうな」とつくづく思います。地球環境へのまなざしを持ちながら、自分たちがすむ地域でできることを淡々とやっていきたいと思います。

おすすめの本

表面のコラムで紹介した今井さん、おおたさんの本です。

- 『体験格差』今井悠介（講談社現代新書）
- 『子どもの体験　学びと格差』おおたとしまさ（文春新書）

＜発行＞　一般社団法人
ノヤマカンパニー
愛媛県西予市宇和町稲生237-1
noyama.company@gmail.com